

令和5年 病害虫防除指導情報 第5号

作物名：水稻

病害虫名：葉いもち

葉いもちの初発生が平年より早いペースで確認されています。
ほ場を見回って早期発見に努め、発生を認めた場合は直ちに茎葉散布剤
による防除を行いましょう。

1 葉いもちの発生状況

- (1) 葉いもちの初発は6月30日に鱒ヶ沢町で確認され、前10か年で最も早かった。
その後は7月6日に七戸町、7月7日に八戸市で確認され、平年より9～10日早
かった（表1、図1）。
- (2) BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件は、6月中旬～7月上旬にかけ
て県内各地で出現し、葉いもちの発生が多くなることが予想される（表2）。

表1 本田における葉いもち発生確認状況

地域	発生地点名	品種名	確認日	初発確認日の平年値
西北	鱒ヶ沢町日照田町	まっしぐら	6月30日	津軽地域：7月14日 県南地域：7月16日
上北	七戸町坪	まっしぐら	7月6日	
三八	八戸市市川町	まっしぐら	7月7日	



図1 現地で確認された急性型病斑（左）と慢性型病斑（右）

表2 BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件出現状況

地域	地点	6月										7月												
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8
東青	青森	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中南	弘前	●	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	△	-	-	-
	黒石	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-
西北	五所川原	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	鱒ヶ沢	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
上北	十和田	△	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	△	●	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-
	三沢	△	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	△	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野辺地	△	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下北	むつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
三八	八戸	△	-	-	-	-	※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	
	三戸	△	-	-	-	-	-	-	△	△	△	-	-	●	●	-	●	-	-	△	-	-	-	-

注) ●は感染好適条件、△は感染好適に準ずる条件、※は判定不能を示す。

2 防除対策

(1) いもち病抵抗性が「やや強～極強」品種の対策

(「青天の霹靂」「つがるロマン」「まっしぐら」「はれわたり」など)

ア 感染に好適な日が出現した7～10日後頃からは場を見回って早期発見に努め、発生を認めた場合は直ちに茎葉散布剤を散布する。

イ 病勢の進展が止まらない場合は、5日ごとにRACコードの異なる茎葉散布剤を散布する。

ウ 抵抗性の強い品種でも窒素質肥料の多施用は発病を助長するので、適正な施肥管理を行う。

(2) いもち病抵抗性が「中以下」の品種や常発地の対策（「華吹雪」など）

ア 箱施用剤、側条施用剤、水面施用剤による予防防除を基本とする。

イ 予防防除を行った水田でも葉いもちの発生が見られた場合は、成分の異なる茎葉散布剤で5日ごとに追加防除を行い、穂いもちの伝染源となる上位葉での発病を抑える。

ウ 箱施用剤等による防除を行っていない場合は、感染好適条件が認められたら茎葉散布剤を散布し、予防防除を徹底する。

【この情報に関する問合せ先】

青森県病害虫防除所

担当：主幹 品川 聖也

〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900